

中東情勢を踏まえた燃料油・石油製品の安定供給確保及び重要物資の安定的な供給確保の対応状況

令和8年4月24日

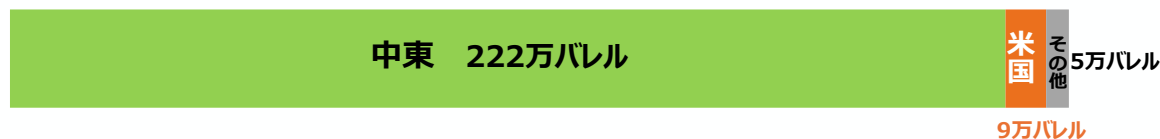
経済産業省

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース

原油の代替調達の現時点の動向

- 原油について、5月は、現時点で、過半を超えて、約6割の代替調達の確保に目途がついたところ。
- 中東や米国に加え、中央アジア、中南米、アジア太平洋からの原油も届く見込み。
- 6月の代替調達についても、5月の水準を更に上回る水準を確保すべく、最大限取り組む。

2025年実績
日量236万バレル



4月調達分
(代替調達約2割以上)



5月調達分
(代替調達約6割)



(注1) 4月24日時点。契約手続きが未了分を含む。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じる。

(注2) 上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

燃料の供給の偏り・流通の円滑化等への主な対応状況

- 直接販売スキーム及び前年同月比同量の要請を元に、118件を解消。

医療関係

- カテーテルの滅菌工程に必要なボイラー用A重油について、供給確保
- 手術用器械などの医療機器を製造する際に必要な潤滑油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 医療機器の素材製造に使用するA重油について、供給確保

交通 ・公共サービス関係

- 九州地方の路線バスの軽油について、供給確保
- 海底ケーブル敷設船の燃料となるA重油について、供給確保
- 下水処理施設の雨水ポンプの運転に必要なA重油について、供給確保
- 中部地方のし尿処理施設で使用するA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 学校給食の製造に必要なA重油について、供給確保

農水畜産業関係

- 乳製品工場で使用するA重油について、供給確保
- 九州地方の茶製造に必要なA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施【直販】
- 大規模な農村地域における農業機械用のガソリン・軽油について、供給確保【直販】
- 養殖の稚魚の飼料製造に必要なA重油について、供給確保

潤滑油に関する供給の偏りの解消事例

- 3月下旬以降、一部の流通事業者・需要家が供給不安から大量に潤滑油等を発注することにより、供給の偏りが発生したことを踏まえ、4月17日に、潤滑油等関係事業者に対して、前年同月比同量を基本とした供給を継続しつつ、こうした偏りを解消するための対応を要請。
- 直接販売スキームの活用や、前年同月比同量を基本とした販売の実施により、潤滑油の目詰まりや供給の偏りが解消される事例が見られている。さらなる目詰まりや供給の偏りの解消を行っていく。

<直販スキームによる供給確保の事例>

①手術用器械などの医療機器を製造する際に必要な複数の潤滑油

→ 従来の商社等からの供給が減少した分について、新規に複数の石油元売会社からの直接販売を実施。

<前年同月比同量の要請による需給状況の改善の事例>

②ステンレスパイプといった医療機器の製造に必要な潤滑油

→ 普段の取引先の供給状況が改善し、当面の在庫を需要家自身で確保。

③医療関連・防衛関連部品の金属加工のため必要な潤滑油

→ 石油元売会社から、当該製造事業者の在庫が尽きる前に潤滑油を手配。

潤滑油等のサプライチェーン

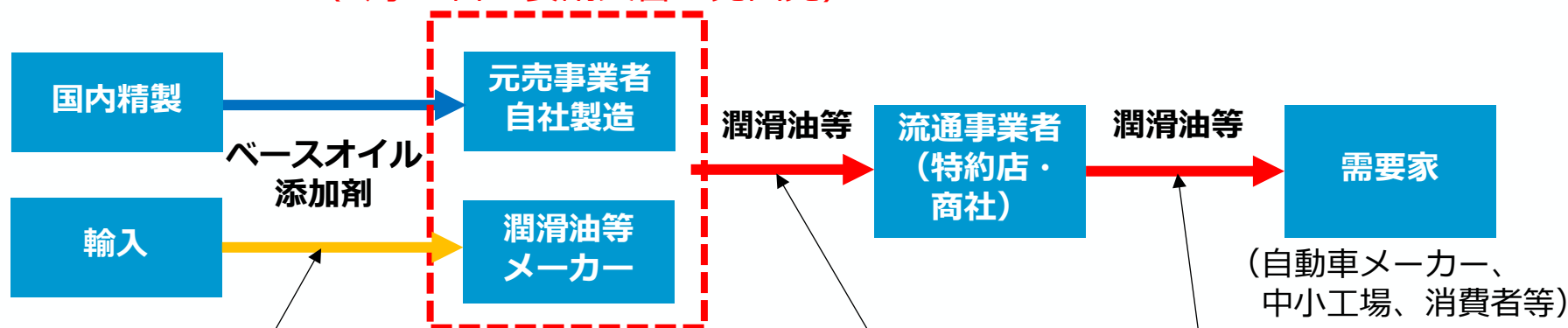
原料調達

潤滑油等製造

流通

消費

(4月17日の要請文書の発出先)



中東産の特殊なベースオイルといった、一部の高性能潤滑油原料の輸入が停止。
現在は、事業者が在庫調整で対応しており、代替品の調達を急いでいる。

• 3月下旬頃から、一部の流通事業者・需要家が供給不安から大量に潤滑油等を発注。
→供給に偏りが発生。

➡潤滑油等の供給の偏りの解消や安定供給確保のため、以下の要請を実施。

<資源エネルギー庁から、元売事業者・潤滑油等事業者への要請（抜粋）>

潤滑油等関係事業者の皆様におかれては、潤滑油等の安定的な供給に努めるべく、前年同月比同量を基本としつつ、3月に前年同月比量を上回る水準を購入した流通事業者や需要家に対しては4月以降の供給量を調整し、供給を継続していただくよう要請します。また、潤滑油等の安定供給という社会的責任の下、最終需要家に対して偏りなく供給されるよう、取引先にも対応を促すことを要請します。

なお、海外から輸入する基油（ベースオイル）などの原料の調達について、関係事業者間で調整の上、なお課題が生じている場合には、速やかに資源エネルギー庁に御相談いただくようお願いいたします。

接着剤について

<接着剤産業の概要>

- 接着剤は、多様な合成樹脂や溶剤等を原料とし、これらを用途に応じて配合して製造。
- 本年3月の生産量は前年同月比0.9%増であり、前年を上回る量を供給。



接着剤の主成分となる合成樹脂や溶剤等及び製品は、平時と同水準での供給は確保されている。

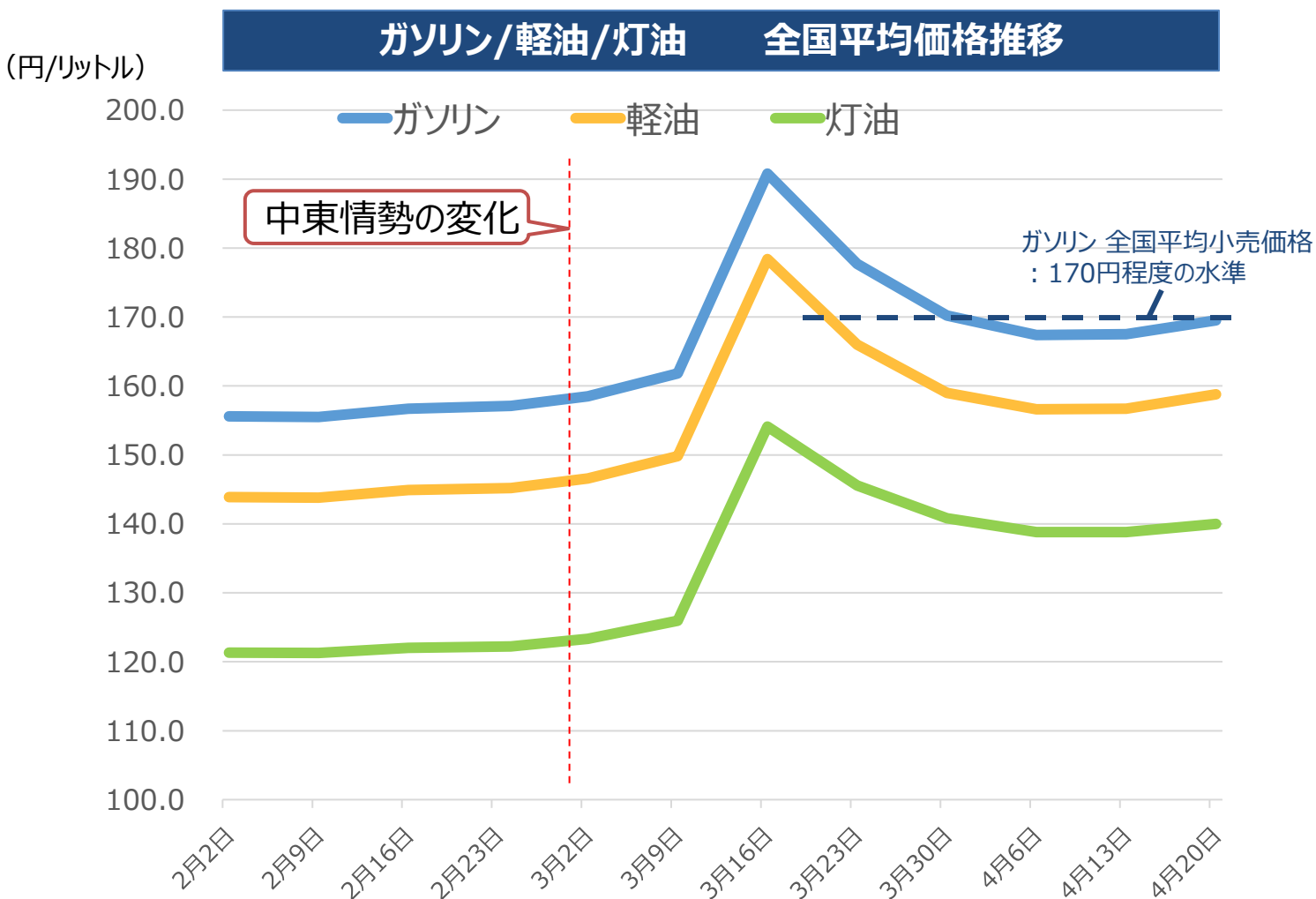
一部の流通・需要側が、供給見通しが未定なことから、実績を越える量を発注。
→供給に偏りが発生。

<政府及び接着剤産業の対応>

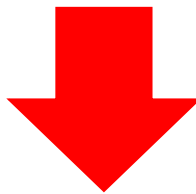
- ➡ 4月13日、**経産省**が、**溶剤等関係事業者**に対し、**接着材の原料となる溶剤の安定供給確保を要請**。翌4月14日、**国交省**が、**住宅業界等**に対し、**当該要請を周知**。4月21日、両省が連携し、**住宅・建材設備業界向けの説明会**を実施。並行して、**経産省**が、**生活製品業界に同じく周知**。
- ➡ 供給の偏り解消に向けて、**経済産業省の伴走のもと**、サプライチェーン間の**供給見通しを共有**するとともに、メーカーの**生産強化**や**在庫活用**により対応。これら取組により、**目詰まりを解消して供給を確保できた例あり**。
- ➡ 4月20日、**日本接着剤工業会**が、「**接着剤原料によって供給状況にばらつきはあるものの、当面の生産に大きな支障はなく、接着剤製品の安定供給に向けた取り組みを進めている**」旨を周知するとともに、需要側に対し、①**通常の事業活動に基づく適正な購買・在庫水準の維持**、②**過度な先行発注や買い占め行動の自制等**を協力要請。

緊急的な激変緩和措置について

- 緊急的な激変緩和措置を3月19日（木）から実施。
- ガソリン小売価格を全国平均で1リッター当たり170円程度に抑制するための補助を実施。
軽油、灯油、重油はガソリンと同額、航空機燃料はその4割を補助。
- これにより、制度開始前の3月16日（月）に**190.8円であったガソリンの全国平均小売価格は、170円程度**、
軽油、灯油もそれぞれ159円程度、140円程度の水準に低下。



3月16日（月）	
ガソリン	190.8円
軽油	178.4円
灯油	154.1円



ガソリン	170円程度
軽油	159円程度
灯油	140円程度
の水準	